



有本 恵子さんの思い出

昭和35(1960)年1月12日生 神戸市長田区

昭和58(1983)年7月頃

英国留学後帰国旅行中に拉致(22歳)

して、事後承諾みたいに。義妹はやりたくなかったから、「親が止めてくれたと思ってた」といまだに怒ってるんです。止まらなかつたんです。いつでも素直に言うことを聞くのに、これに関しては一歩も譲らなかつたんです。泣いて「行かしてくれ」て言うたんですね。

有本嘉代子さん(恵子さんの母)

平成17年2月10日、東京連続集会発言から要約

おぎやーっと産まれて、赤ん坊の時分からそんなにわ〜わ〜と泣かない。本当に育てやすく、全然手がかからなかつた。兄弟は、女の子5人男の子1人の6人で、その3番目です。非常におとなしい、聞き分けのいい、本当に手のかからない子だったんですけれども、最後に一番手がかかつて。本当にどうした方がいいのかと思って、毎日思い悩んでおります。

主人の妹(義妹)と恵子は偶然にも生まれた月日が一緒なんです。誕生日が一緒だからと言うわけじゃないんですけれども、たくさんいる中で特に恵子が可愛かつたみたいです。1年2か月ぐらいですぐに次の子ができました。それで、義妹がずっと抱っこして寝てくれたんですね。そんなに、恵子のことは義妹の方が私以上に良く知ってると思います。高校に入りました時点で、英語が小学校の時分からわりと好きで、ちよっと昔習いに行つたこともあります。たまたまその学校が義妹が買いましたマンシヨンのすぐ端にあつたので、いつも夜間のときだけは迎えに行つてくれてたんです。したら「そないするのが面倒だから、とにかくずっと家におつて一緒に暮らそう」ということになって、高校の時点から私どもの手から離れて、義妹と一緒に暮らしました。

1982年に神戸市立外語大学の2部を卒業しました。お昼は、自分でアルバイトをしていました。ですから小さい時分からそんなにお金も無駄に使わないし、きちつと自分のことは自分でするよな子どもでしたから、お金もきっちり貯めてたんですね。自分が外国へ行くと言つたんも事後承諾で、私ども全然お金出さなかつたんです。全部申し込んで、何もかも手続きを済ま



有本明弘・嘉代子夫妻

最初は半年という約束だったものですから、半年くらいだつたらすぐ済むわという感じで、半年経つたらすぐ帰つたらっしゃいよつて言うたんですけれど。手紙は本当にこまめに、月に最低でも1回、多いときは2回、3回と来てました。やつと翌年の1983年の6月末に、「もう帰るわ」と手紙が来たんです。私もやれやれ思ひまして。そしたら「夏の2か月くらいは旅行して帰るから」という手紙でした。すぐに帰つてくれればいいのになと思つて、私もすぐから手紙出したんですけれど、行き違いになつてたんじゃないかと思ひます。その後、「8月9日に帰る」と手紙が来たもんですから、その時はああ良かった、やれやれと思つたんですが。義妹と一緒に迎えに行こうというつもりだったんですけれど、義妹は、ちよっと私は気になることがあるからと。あの人はピンと霊感が働くことがあるんですね。「とにかくいっぺん伊丹に電話してみろ」つて空港に電話してみたんなんです。「その方ね、キャンセルしておられますよ」つて、そない言われたんですね。それを今も覚えておりますが、キャンセルした人が横文字でしたわ。「どうしてキャンセルしたんだろう」と私たちもドキッとしました。

その日のうちに電報が来ました。これは多分よど号関係の人が出したんだと思ひます。後になって分かつたんですけど、西側の警察の方が、キム・ユウチヨルという北朝鮮の工作員をずっとチェックしてたんですね。たまたまその人をコペンハーゲンの空港で見つけて写真を撮つたんですつて。そのときに恵子が端に写つていたんです。



有本 恵子さん①

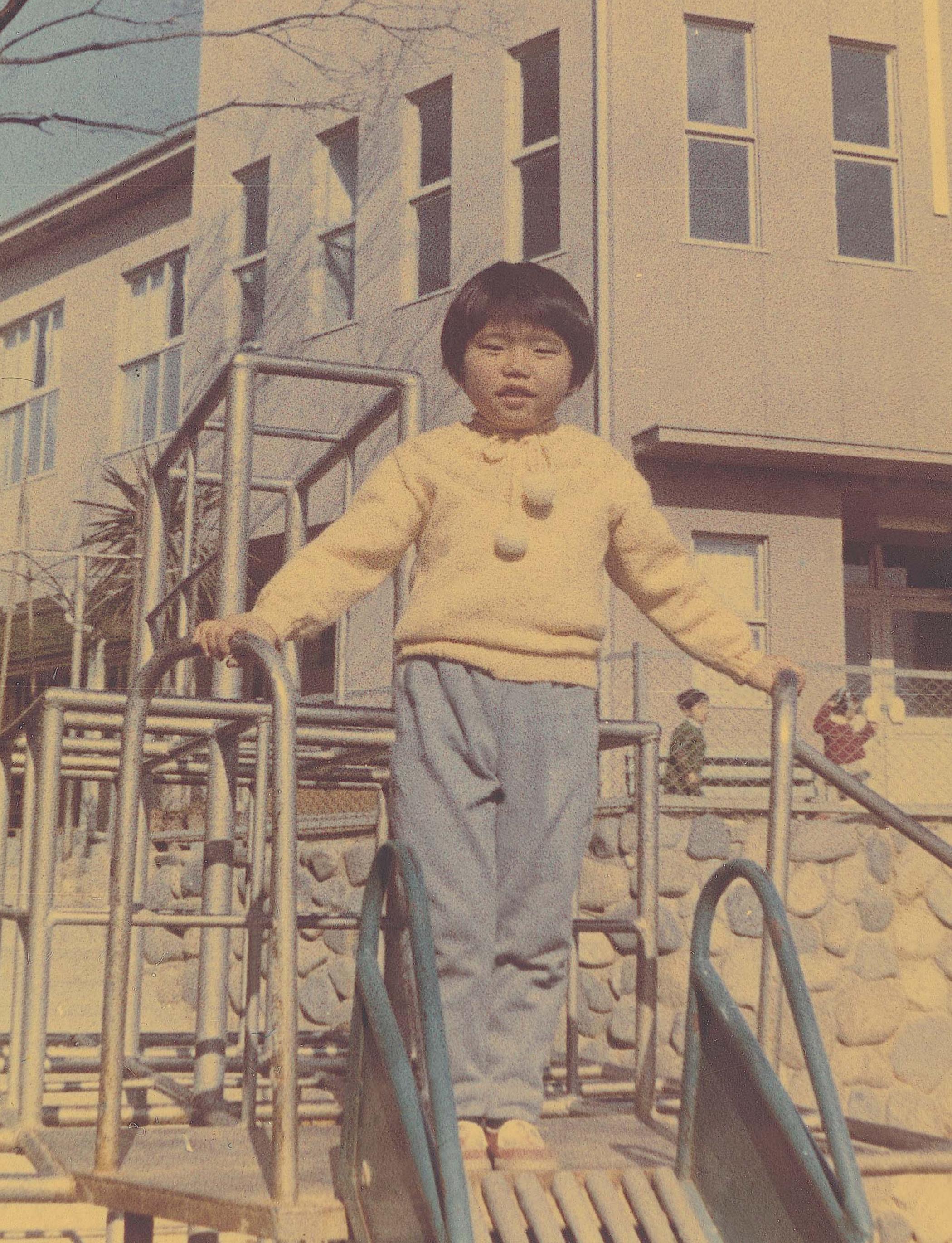
<写真左>

風船を見上げて…手を離すと揚がってしまうヨ。仲良しのキューピーと一緒に。おもちゃを置いておくと、いつも機嫌よく遊んでいた生後7カ月の恵子さん。

<写真右>

よちよち歩き2歳の頃。恵子さんが子どもどもの頃は、年越、節分(2月3日)には頭に小さなまげをつけて着物を着せたもの。関西では“お化け”と言っていた。





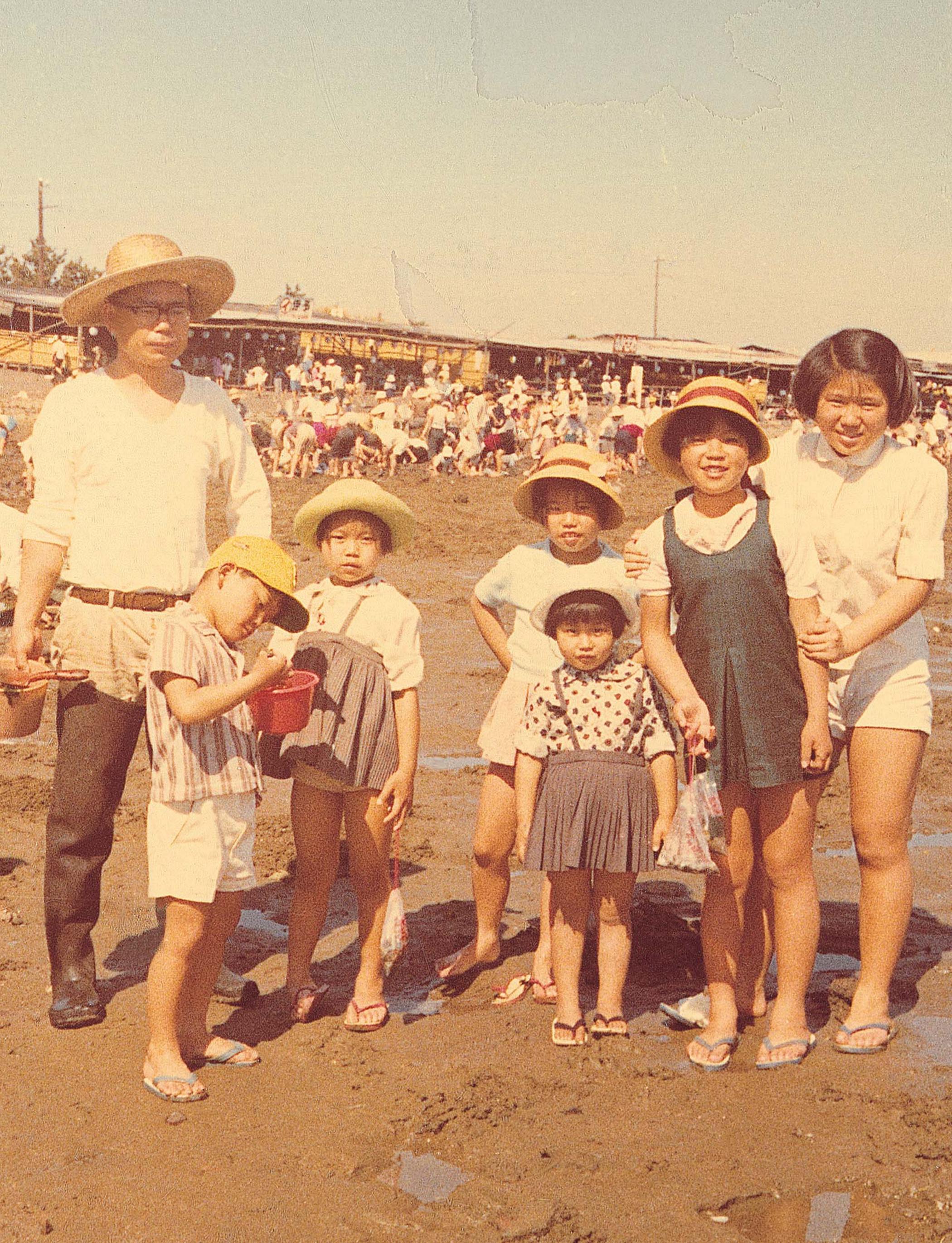
有本 恵子さん②

幼稚園時代、滑り台の上の恵子さん。小さいときから本当におとなしい、手のかからない子だった。



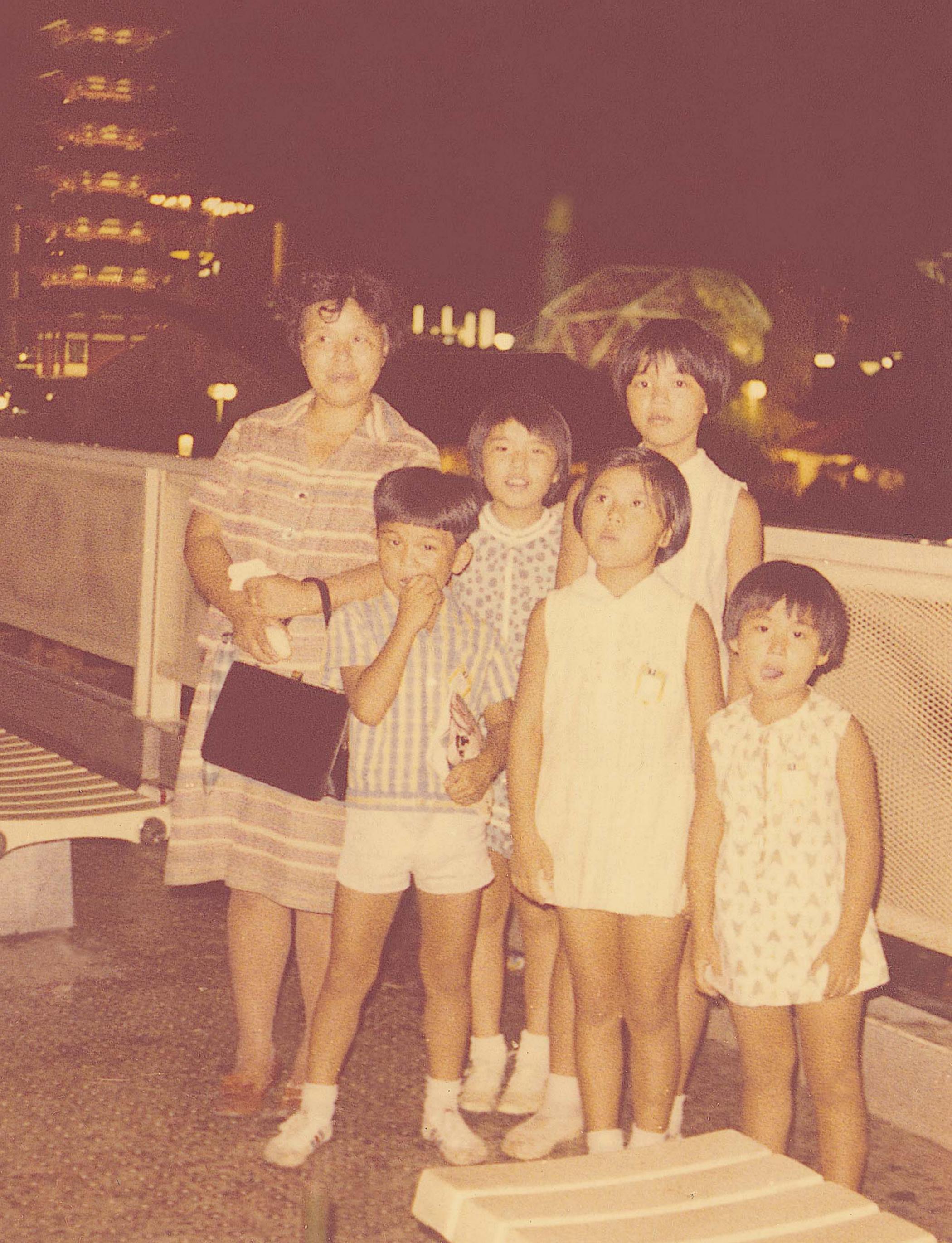
有本 恵子さん③

毎年お正月には、姉妹一緒に晴着を着て氏神様をお参りしていた恵子さん。小学生のとき。



有本 恵子さん④

父・明弘さん(左端)ときょうだい6人がそろって潮干狩りに行ったときの恵子さん(後列右から3人目)



有本 恵子さん⑤

母・嘉代子さん(左端)と一緒に出かけた恵子さん(左から3人目)。



有本 恵子さん⑥ 中学校時代、修学旅行先での恵子さん(左から2人目)。



有本 恵子さん⑦

<写真左>

高校時代、通い始めた夜の英語学校が叔母の家のすぐ近くだったこともあって、叔母と2人暮らしを始めた恵子さん。自分で考えて、黙々と頑張る子だった。

<写真右>

大学時代、銀行のハワイ支店に勤務していた叔父のところへ叔母と一緒に旅行したときの恵子さん。





有本 恵子さん⑧

友人の誕生日に招かれた時の写真。
20歳の恵子さん。友人宅にて。